

はだの 農業委員会だより

第125号
平成28年3月発行

編集・発行

秦野市農業委員会

〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号

TEL 0463-82-9654

E-mail noui@city.hadano.kanagawa.jp



春の おとずれ 菜の花



菜の花（ナバナ）は春の訪れを感じさせてくれる花で、観賞用として人気があります。また、初春が旬の野菜でもあります。菜の花に関することばに、菜種梅雨（3月中旬から4月にかけて、連日雨が降り続く天気）、菜種月（春先のかすみがかかった月）などがあります。

秦野市にも菜の花に関する地名があります。「菜の花台」です。ここからは、秦野市内だけでなく、相模湾から江の島まで一望できます。

おもな内容

■ 神奈川県農業委員大会ほか	2
■ はだの市民農業塾閉講式ほか	3
■ 農地中間管理事業ほか	4
■ 農業委員紹介コーナー	5

■ 農家の声	6
■ 相談コーナーほか	7
■ カメラスケッチほか	8

平成27年度 神奈川県農業委員大会 TPP大筋合意を踏まえた 特別決議などを採択

平成27年11月12日、神奈川県農業会議が、海老名市文化会館で、平成27年度神奈川県農業委員大会を開催し、本市の農業委員をはじめ、県内の農業委員等約750人が出席しました。

大会では、「新たな農業委員会制度及び農業委員会ネットワーク業務の円滑な運営に関する要望」、「都市農業の振興と農地の保全・有効利用対策に関する要望」、「担い手・経営対策に関する要望」、「農業委員会活動の強化に関する申し合わせ」の4議案とともに、特別決議として「TPP交渉の大筋合意を踏まえた特別決議」を採択しました。

また、農業委員として長年



に渡り地域の農業振興に貢献した方々の表彰が行われ、本市農業委員会からは、永年在任農業委員（12年以上）として、和田厚行委員が表彰されました。

県外農業優良事例調査研修会 （静岡県掛川市） 世界農業遺産「静岡の茶草場農法」

平成27年11月5日から6日において、静岡県掛川市で、県外農業優良事例調査研修会を行いました。

と生物多様性の確保が両立しているこの地域は、世界的にも非常に珍しい事例です。

世界農業遺産である「静岡の茶草場農法」は、茶園周辺のススキやササなどの草を刈り、茶畑に有機肥料として投入する伝統的な農法です。この投入する草を刈り取る採草地を茶草場といっています。この伝統的に継続されてきた茶草場農法が、茶草場を貴重な生物が住む特別な場所と変えていきました。良いお茶を作ろうとする農家の営みや努力

当日は、「お茶振興課」の方に案内していただきましました。まず、お茶だけに特化した組織があることに驚きました。さすがは、全国有数の生産量をほこり、品評会においても数々の賞を受賞している地域です。残念ながら世界農業遺産は認知度が低いとのこと、現在、認知度向上の取組を行っているとの説明がありました。



東山の茶文字



茶畑の視察の様子



講演する神奈川県農業会議職員

研修の内容は、都市農業に必要な相続対策についてと、農業委員会等に関する法律の改正についてです。本市農業委員会委員をはじめ、各市町農業委員会委員は、委員としての活動に役立てるため、メモを取りながら熱心に聴いていました。

中地方農業委員会連合会 「農業委員研修会」開催

2月2日に、平塚市勤労会館で、中地方農業委員会連合会が、神奈川県農業会議と共催で、農業委員研修会を開催しました。

「はだの市民農業塾」閉講式

3コース25名が修了

2月6日に、平成27年度はだの市民農業塾の閉講式が開催されました。

はだの市民農業塾（塾長…秦野市長、副塾長…秦野市農業協同組合代表理事組合長及び秦野市農業委員会会長）とは、新たな農業の担い手づくりとして、新規就農や農業参画を希望する市民に対して、本市独自でサポートするため

に開講されたものです。現在は、新規就農コース（新たに農業者として営農を希望する人、農業を開始する農業後継者向け。）、基礎セミナーコ



山口政雄 秦野市農業協同組合代表理事組合長



北村彰 秦野市農業委員会会長職務代理者

ース（農業の基礎知識を習得したい人、市民農園等を利用したい人向け。）、農産加工起業セミナーコース（農産加工品の製造販売を始めたい人向け。）の3コースがあります。

平成27年度の修了生は、それぞれ6名、10名、9名でした。

開式にあたり、副塾長であり、秦野市農業委員でもある山口政雄 秦野市農業協同組合代表理事組合長から挨拶があり、その後、修了認定証書が手渡されました。最後に、副塾長である鳥海久元 秦野市農業委員会会長の代理で出席し

た、北村彰 秦野市農業委員会会長職務代理者が励ましの言葉を送られました。

新規就農コースの修了生のうち、農業外からの新規就農者は、次の2名です。



修了生の代表として あいさつ

○ 上松 清さん

・ 目標とする農業経営
自立する農業

・ 予定作付作物
露地野菜

・ ひとこと

安全で安心できる農作物を作ることを前提に自立する農業を考えていきたいです。雑草と闘いながら挑戦するのが楽しみです。

○ 加賀 将志さん



・ 目標とする農業経営
観光農園、6次産業化
・ 予定作付作物
露地野菜
・ ひとこと

3～5年後に6次産業化を目指します。良質で安心・安全な野菜作りを心掛け、信頼される生産者になれるよう努力していきます。

また、新規就農コース講師から修了生に向けた言葉をいただきました。



○ 伊藤 隆弘 講師

2年間の農業研修、お疲れさまでした。安定した農業経営には毎年の経験の積み重ねが大事です。自然が相手想定外の状況に直面することもあります。しかし、それも経験ととらえ、さらなる栽培技術の向上に取り組み、秦野市農業の活性化に貢献されることを期待しています。

この市民農業塾ですが、PR動画をインターネット上で公開しています。「はだの市民農業塾の紹介 動画」で検索してください。

神奈川県農業会議

賛助会員費

ご協力ありがとうございました
賛助金額 940,500円

毎年お願いしている神奈川県農業会議の賛助会員費につきましては、本年度は1,881戸もの農家の皆様にご協力いただき、ありがとうございました。

この賛助会員費は、神奈川県農業会議の次の事業に充てられます。

- ・ 税制対策と経営改善支援
- ・ 農政情報活動
- ・ 各生産組合の地域農政活動への助成 など

農地中間管理事業

農地の貸し借りを進めます！

に貸し付ける事により、農地の集積・集約化を進める事業です。

農地中間管理機構とは…

神奈川県では、公益社団法人神奈川県農業公社が農地中間管理機構の指定を受けています。この農地中間管理機構が、農地中間管理事業を進めていきます。

農地の出し手に 交付される協力金

農地中間管理機構に農地を貸すと、条件がありますが、交付される協力金が3種類あります。

① 地域集積協力金

地域で話し合い、地域内の農地の一定割合以上を農地中間管理機構に貸し付ける場合。なお、貸付面積の割合によって単価が変更されます。

② 経営転換協力金

リタイア、経営転換、農地を相続したが農業を継がない場合など、使わない農地をまとめて農地中間管理機構に貸

し付ける場合。ただし、農地を10年以上貸し付け、かつ受け手に貸し付けられた場合に限ります。

③ 耕作者集積協力金

農地中間管理機構が管理している農地、または借受希望者が管理している農地に隣接する農地、2筆以上まとまっている農地のいずれかに該当する農地を、農地中間管理機構に貸し付ける場合。ただし、農地を10年以上貸し付け、かつ受け手に貸し付けられた場合に限ります。



なお、当事者の要件や、農地の場所によっては対象にならないことがあります。
詳しくは、農産課（☎82-9626）にお問い合わせください。

遊休農地をなくそう

遊休農地が発生すると、その農地だけでなく周辺の農地の悪化につながります。雑草・竹の繁茂、種子の飛散、病害虫の発生、有害鳥獣の住処などが挙げられます。また、タバコ・放火による火災の発生、不法投棄、悪臭など近隣住民に対する生活環境衛生上においても問題が出てきます。

利用状況調査を毎年実施

農業委員会では、毎年、農地の利用状況調査（農地パトロール）を実施しています。この調査で見付かった遊休農地の所有者に対しては、適正管理をお願いするほかに、今後の利用意向（貸し付けの希望、自ら耕作する予定など）を調査する場合があります。

利用集積を考えて

農地は遊休化せず、耕作することが原則です。耕作できない場合は、上記の農地中間管理事業や農地銀行を利用して、担い手への利用集積（貸し付けなど）を考えてください。

農地中間管理事業とは…
農業振興地域内の農地を対象に、農業を辞めたい方や農業の規模を縮小したい方など、農地を貸し付けたい方（出し手）から、農地中間管理機構が農地を借り受け、規模拡大や新規参入するために農地を借りたい方（受け手）

農業委員紹介コーナー

議席順

山口政雄 (農協推薦)



小菅基司 (議会推薦)



山口勝嗣 (公選・南地区)



鳥海久元 (公選・東地区)



いきます。また、鳥獣被害にも関係機関と連携して対策に取り組みます。
佐藤盛 (公選・大根地区)



● 役職

運営委員

● 主な作付作物

露地野菜

● ひごと

今日、農業の担い手が減少しています。要因は作物を作付しても、どうせ鳥獣被害にあつて意欲が薄れることにより、荒廃農地が拡大することと、鳥獣の住処が多くなつて悪循環につながっています。我々は、T P Pの先行き不透明な中で、食料自給率を引き上げるために、関係機関と連携して地産地消に取り組んでいくことが大切です。

● ひごと

現在、有害鳥獣駆除員として銃器による駆除現場を経験しています。犬を使う猪猟では、犬が怪我、酷いときには死に至ることもあります。危険と隣り合わせの現場で感じることは、駆除員の高齢化、地位向上、充実した保障確立など、生産者にもご理解いただきたい課題です。

● 役職

編集委員

● 担当生産組合

三協町・宮町・北町・南町・小原町

● 主な作付作物

露地野菜

● ひごと

退職後、相続した農地を耕し始め数年が経ち、ようやく、物を作る喜びや大変さが分かりかけてきました。

最近のメディアの報道を見聞きすると、農業従事者の高齢化、担い手不足からの農業耕作地放棄、有害鳥獣被害の増加等々、農業を取り巻く環境が深刻な状況になりつつあります。安心、安全な露地野菜を作りながら耕作放棄地を増やさないよう努めていきたいと思ひます。

● 役職

会長、運営委員、編集委員

● 担当生産組合

落合東・落合西・小金沢・西沢・道場・才玉・上原

● 主な作付作物

ミカン、カキ

● ひごと

農業、農地を取り巻く環境が国の方針で大きく変わつていく方向になってきています。農業を行うのには厳しい時代ですが、少しでも農家のために役立てるよう頑張つて

● 役職

一・鶴巻第二

● 担当生産組合

鶴巻上・鶴巻中・鶴巻第一

● 主な作付作物

水稲、露地野菜

● ひごと

会社定年退職後、農業に携わりましたが、良く分からない部分が多く、先輩方に助けをもらいながら、頑張つていきます。



全国農業新聞

全国農業新聞は、最新の農業情勢の提供と解説、先進農家の経営紹介、農業入門など読んで役立つ情報が満載です。

- 毎週金曜日発行
- 購読料 月700円
- お申し込みは、地元農業委員、または農業委員会事務局まで。

事務局
☎82-9654

農家の声



バラ農家に嫁いで

石田 京子（曾屋一丁目）



私は、弘法山の麓にあるバラ園に嫁いで29年。結婚と同時に仕事をすることになりました。体を動かすのは好きだったので苦ではなかったのですが、バラのことを全く知らず、温室で育てられているのすら知りませんでした。花切り、誘引、選花作業とどれも難しく、また、品種名を覚えるのにも苦労しました。両親と夫と私の4人で仕事をしてきたこともあり、失敗して障はないだろうと、どこか甘えていた部分がありました。しかし、両親が年老いてき

て、父から夫へと経営を任せられるようになり、新しい市場への変更が決まってからは、私達を中心となる作業形式になるため、選花や花切り作業の方法も、すべて一からのスタートとなりました。私の意識が変わったのはそこからでした。両親が守ってきたバラ園を、これからは私達世代が守っていかなければと思うようになり、仕事にも意欲が湧いてきました。

夫が思い描いている「こだわりのバラ」、市場や花屋、消費者の方々に、「石田バラ園のバラが欲しい。」と言ってももらえるように、日々意見を出し合い、試行錯誤を繰り返しています。また、定期的に、市場や花屋まで自分達の花の状態を確認したり、他の生産者の花の見学をしたりしています。良質なバラを提示できるよう、前進しています。やればやっただけの成果

は出ると思っています。これからも、夫婦が元気な限り、続けていきたいと思っています。

次世代へつなぐ役割

須藤 政一（菖蒲）



就農して20年が過ぎました。「農業を取り巻く環境は厳しい」、20年間この言葉を聞かない年はありません。後継者の減少、担い手の高齢化、荒廃農地の増加、鳥獣被害、原油高騰による高コスト化…。

あげればきりが無い程の課題が、根本的な解決策も見つからないまま山積みです。「農業を取り巻く環境は厳しい」という相変わらずの状況の中で、なぜ私が「農業を継続しなければ！」と思ったかをお話しします。就農当初は、作物を育て収穫物を消費者に買ってもら

って生計を立てる仕事であり、「良いものを作って儲けたい！」「良いもの」とは何かも分からずに漠然とした思いで作業する日々を過ごしていました。所属していた農業後継者クラブ秦友会や農協青年部の活動に対しても、どちらかという消費的で受け身的な態度でした。数年経ってきました。事務局の方のアドバイスと責任感がきっかけになり、前向きに取り組もうという意識にスイッチが入りました。この頃から、それぞれの組織の活動において先輩方や後輩たち、事務局の方とともに自分たちの目指す目標に向かって切磋琢磨するところが大きな達成感を生み、自分に自信が持てるようになりました。就農してから10年ほど経った頃、秦友会の活動の中で、個々の経営ビジョンを作ろうということになりました。改めて農業とは何か？を考えたとき、その役割の広さに気付き、「お金に換える物を作る」と思っていたか

つての自分を恥ずかしく思いました。その時に作った経営ビジョンでの「本物を作りたい！」というキャッチコピーは、10年たった今でも変わらず、すべてがこの言葉とリンクするように取り組んでいるつもりです。「人の口に入るもの」即ち「消費者の皆さんの健康を維持する食物を提供すること」を意識し、栽培管理を見直しながら自分の目指す「本物づくり」に挑戦しております。

かつての先人たちが仲間とともに継続できる農業を描き、切磋琢磨して守ってきた農地を我々に託した思いを想像し、家族は勿論のこと、人との繋がりを大切に考えて、百年、二百年…と継続できる農業を後世の人たちに繋ぐことが自分の役割であると感じています。最近では異業種の方たちとも交流があり、色々な方との繋がりがから勉強できることに感謝し、山積みしている課題に立ち向かっている日々です。



Q 家族経営協定とはどんなものですか。メリットはありますか。

A 家族経営協定とは、家族経営の方針や家族一人ひとりの役割、働きやすい環境づくりなどについて、家族間の十分な話し合いに基づき、取り決めることです。これにより、家族全員の位置づけや役割をはっきりさせ、一人ひとりの力を最大限に発揮することが、家族経営の経営力の向上につながります。取り決める内容は、経営目標・方針、就業条件（役割分担・労働時間・報酬・休日等）、経営権・経営資産の移譲などです。

家族経営協定の効果として、家族で話し合う機会の増加、経営の役割分担の明確化、経営目標の明確化、共同

経営者としての自覚、労働時間・報酬の改善などが挙げられます。

農業政策上のメリットとしては、①認定農業者制度において、共同経営を行っている配偶者や後継者が、共同申請を行うことで認定農業者になれる、②農業者年金制度にお

いて、配偶者や後継者が、保険料の国庫補助を受けられる（一定の条件あり）、③制度資金の一部において、配偶者や後継者が、自分名義で融資を受けられる、などがあります。詳しくは、農業委員会事務局へお問合せください。

農業委員会活動報告
(平成27年11月～平成28年2月)

●総会

11月25日、12月25日、1月25日、2月25日

(主な審議案件と件数等は下表のとおり)

●運営委員会

11月16日、12月16日、1月15日、2月16日

●編集委員会

1月25日、2月25日

●神奈川県農業委員会大会

11月12日

●県外農業優良事例調査研修会

11月5日～6日

2月2日

■総会の主な審議案件と件数(11～2月)

審議案件	件数	面積
耕作目的の売買・貸借（3条許可）	7件	5,746㎡
市街化調整区域内の転用（4・5条許可）	11件	29,614.54㎡
市街化区域内の転用（4・5条届出）	101件	40,714.90㎡
相続税納税猶予	6件	20,787.03㎡

農地の賃借料情報

平成27年1月から12月までに、利用権設定により賃貸借された農地の賃借料（10a当たり）は下表のとおりです。

区分	平均額（円）	最高額（円）	最低額（円）	データ数
田	—	—	—	0
畑	13,000	75,500	4,100	56

※農地の区分、平均額、最高額、最低額を賃借料情報として提供します（農業用施設用地及び法人の賃貸借は除く。）。

※金額は、1件ごとに百円未満を四捨五入して集計したものです。

※データ数は、集計に用いた件数（筆数）です。

支援センター通信

荒廃農地解消事業啓発活動 『みその手づくり』

荒廃農地解消市民ボランティアの会と協働して行っている荒廃農地解消事業の一環として、市立東小学校児童と一緒にダイズを栽培し収穫しました。その収穫したダイズで、3月5日に、ボランティアの会員と児童が、みその手づくりを実施しました。



児童は、ゆでて潰したダイズに、麴や塩を一生懸命混ぜ合わせていました。



カメラスケッチ

平成27年11月20日(金)から22日(日)に、「第51回秦野市農産物品評会(主催:秦野市農産物品評会実行委員会)」が、秦野市農業協同組合本所農業団地センターで開催されました。今回出品された農産物は454点上り、どれも優秀で甲乙付けがたく、20日に行われた審査は難航

した中、優秀賞20点をはじめ、全120点が褒賞となりました。22日に表彰式が、秦野市農業協同組合本所「虹の間」で行われ、同実行委員会会長である山口政雄秦野市農業協同組合代表理事組合長から表彰状が手渡されました。詳しくは、「農産課(☎82-9626)」にお問合せ下さい。

農産物品評会開催される

丹沢秦野農園ハイク 大好評開催!

平成27年11月28日(土)に、本市堀山下、堀西地域で、「丹沢秦野農園ハイク(主催:丹沢秦野観光農業研究会)」が開催されました。このイベントは、本年度17回目を数えます。表丹沢の登山口で、県立秦野戸川公園がある恵まれた自然環境の中で、野菜や果樹など多彩な農産物が生産されている同地域、ここで、農園をハイキングしながら回り、旬の野菜の収穫を楽しもうと、377名もの人が参加しました。

このイベントのPR動画をインターネット上で公開しています。「丹沢秦野農園ハイク 動画」で検索してください。



農園ハイク会場



品評会会場



審査の様子



収穫は親子一緒に

農業者年金に加入しませんか?

農業者年金は、確定拠出型の年金で、次の長所があります。

- 年金額が加入者数・受給者数に影響されない。
- 保険料は全額控除対象。
- 保険料の国庫補助(一定の要件が必要)。



お問合せ

農業委員会事務局
JAはだの営農課

☎ 82-9654

☎ 81-7718

(副編集委員長 平井 剛)

あたたかな春の日差し季節、皆様にとって何かと忙しい時期ではないかと思えます。編集委員会では、多くの皆様に興味を持って読んでいただけるよう、役立つ情報を満載していきたいと思っています。ご意見、ご要望をお待ちしております。

編 集 後 記